

第86回通常組合会開かれる

去る3月15日（金）、当職別国保組合の第86回通常組合会が、上京区のルビノ京都堀川で開催され、平成25年度事業計画、同歳入歳出予算を中心に審議され別掲の通り提出議案すべてが原案通り可決承認されました。



第86回組合会 理事長開会あいさつ

理事長 松田 等

- 先ず、本年度電気支部の井上義平さんが瑞宝双光章を受賞され、組合を代表して改めて心よりお祝い申し上げます。
- 昨年12月の衆議院選で民主党から自民・公明党に政権が代わりましたが、前政権の民主党時代に行われた事業仕分けにより、国保組合の補助金の見直しなどが行われ国保組合の事業運営は引き続き厳しい状況です。
- 国保組合の補助金は、市町村国保との国庫補助のバランスで措置されてきたものであり、定率補助の廃止等の一方的な見直しは、事業の安定的運営が阻害され、国保組合の制度基盤を大きく揺るがすこととなるため、到底容認できるものではありません。
- さて、中央の情勢ですが、社会保障制度改革国民会議が開催され、今後の高齢者医療制度をはじめ、将来に亘り持続可能な社会保障の実現に向けて議論されているところであり、この8月に結論を出すことになっています。医療保険制度については、財政基盤の安定化、保険料に係る国民の負担に関する公平感の確保、保険給付の対象となる療養の範囲の適正化などが検討されています。
- また、特定健診・特定保健指導については、平成25年度から第二期特定健康診査実施計画に基づき実施し、目標値達成に向けて引き続き受診勧奨を積極的に行っていきます。
- 平成25年度予算についてですが、当国保組合のホームページを開設し、被保険者の利便性を高めるとともに、医療費適正化事業に積極的に取り組みます。また、国庫補助金については、合計が8億7千万円となり、昨年度と比較して5千6百万円を増額して計上しました。
- 今回の組合員資格調査につきましては、各母体組合様には大変なご尽力をいただきまして感謝申し上げます。今後は3年毎に組合員資格調査を実施することを考えていますので協力の程よろしく申し上げます。
- 以上、審議の上、全議案について御承認を賜りますようお願い申し上げ、開会に当たっての御挨拶とさせていただきます。